

## 福島のチカラ テレビのチカラ 「声かけ地デジ化大作戦」

福島県、宮城県、岩手県の地上アナログ放送終了100日前となる12月22日に、3県一斉に「声かけ地デジ化大作戦」スタートと「地デジ化声かけ隊」の出発式が行われました。福島県では福島駅前で、最初に総務省稲田審議官、Dp a間部理事長のご挨拶、各放送局の代表の皆様から決意表明がありました。各局地デジ大使の紹介のあと、福島県の地デジ化声かけ隊の隊長として、福島県出身で横浜DeNAベイスターズの監督に就任された中畑清監督が登場。ふるさと福島への熱い思いと共に、地デジ化への推進を強く訴えていただきました。



そのあと、地デジ芸人のテツ and トモさんの「♪いませんか〜～いませんか〜～、地デジ化まだの人〜」の歌声に乗って、お集まりいただいた皆さんに、「おじいちゃん、おばあちゃん、ご近所やご親戚の方に地デジ化まだの人がいないか声をかけてください」と訴えました。



最後に中畑さんのご発声で、参加いただいた方全員で「がんばるぞ〜お〜」と氣勢を上げました。このあと、多くの人に見送られて、デジサポカーは声かけに出発しました。



この日の午後には、東北総通局武井局長、民放連広瀬会長、NHK永井専務理事、そして地元の放送局の代表が県庁に内堀副知事を表敬訪問し、地上アナログ放送終了に向けた取り組みについて説明し、福島県の協力を要請しました。



デジサポカーは22日福島市、23日いわき市、24日会津若松市、25日郡山市と県内を走り回り地デジ化まだの人もいませんか、と声をかけて回りました。多くの方は、「もう地デジ化すんでるよ」とおっしゃっていただきましたが、「知り合いにまだの人がいるから声をかけてみよう」とご協力いただける方もいらっしゃり、地デジ化声かけ隊はスムーズにスタートを切ることができました。



3月31日まで、地デジ化声かけ隊は地デジ化に遅れてしまう人が出ないように、県内を走り回って声をかけていきます。